

GXロケットの高度500 kmへの打上げ能力について

平成18年10月24日
宇宙開発委員会事務局

前回のLNG推進系飛行実証プロジェクト評価小委員会において棚次特別委員から質問のあったGXロケットの打上げ能力については、棚次特別委員と石川島播磨重工業株式会社との間で、以下のとおり確認されました。

- 1 . 冬期打上げの場合、高度500 kmの太陽同期軌道への打上げ能力（再着火なし）は、約1.8トンである。
- 2 . 夏期打上げの場合、当日風による打上げ可能確率を80%以上に設定すると、高度500 kmの太陽同期軌道への打上げ能力（再着火なし）は、約1.0トンとなる。また、冬期と同等の打上げ能力を確保した場合は、当日風による打上げ可能確率は約50%となる。
- 3 . 打上げ能力に関する棚次特別委員と石川島播磨重工業株式会社との解析結果の差¹は、主に保安上の制約から

¹ 秋葉主査から用語の不適正を指摘された。「計算の結果は本来一致して当然である。」と云う、第2回 LNG 小委員会での発言

があったが、「前提条件設定の差」とすれば良いのであろう。